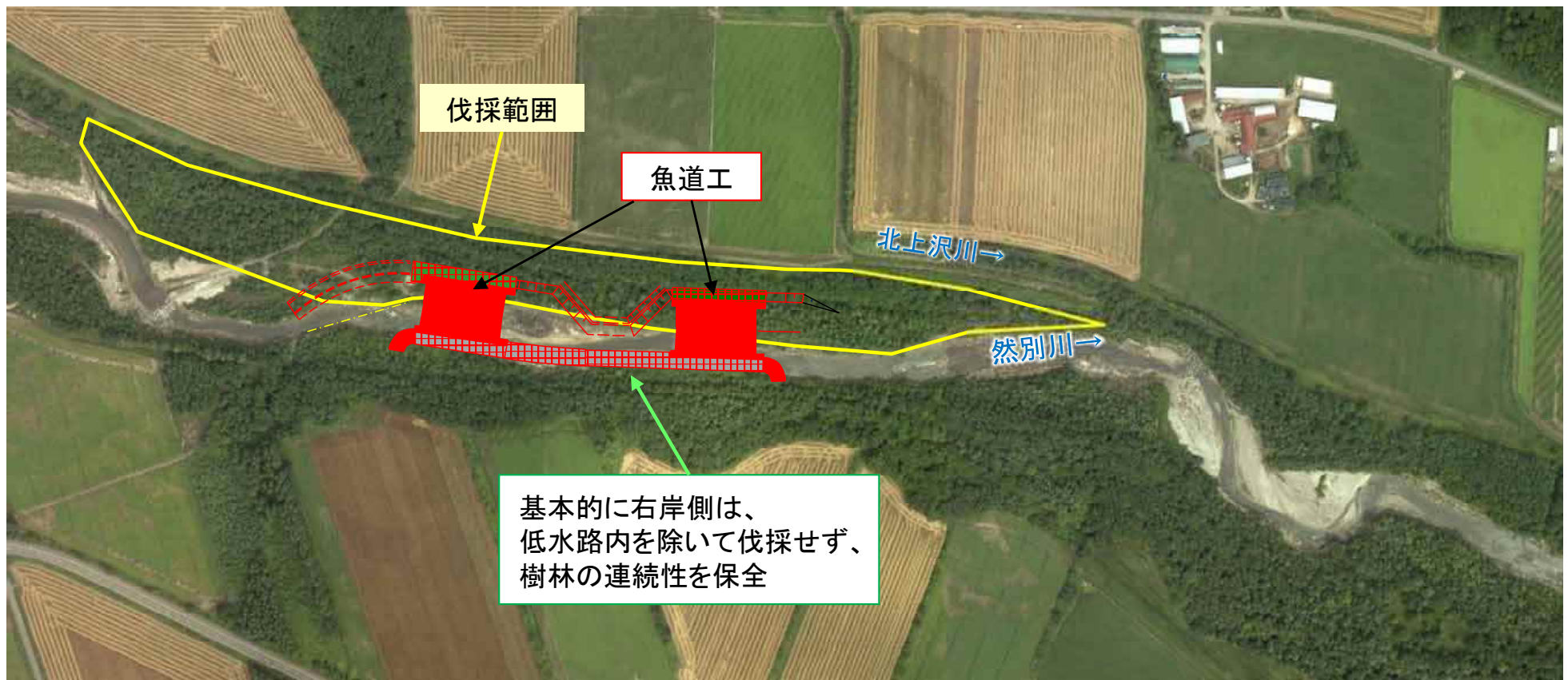


5. 然別川総合流域防災工事：魚道工 ① 事業概要

事業概要

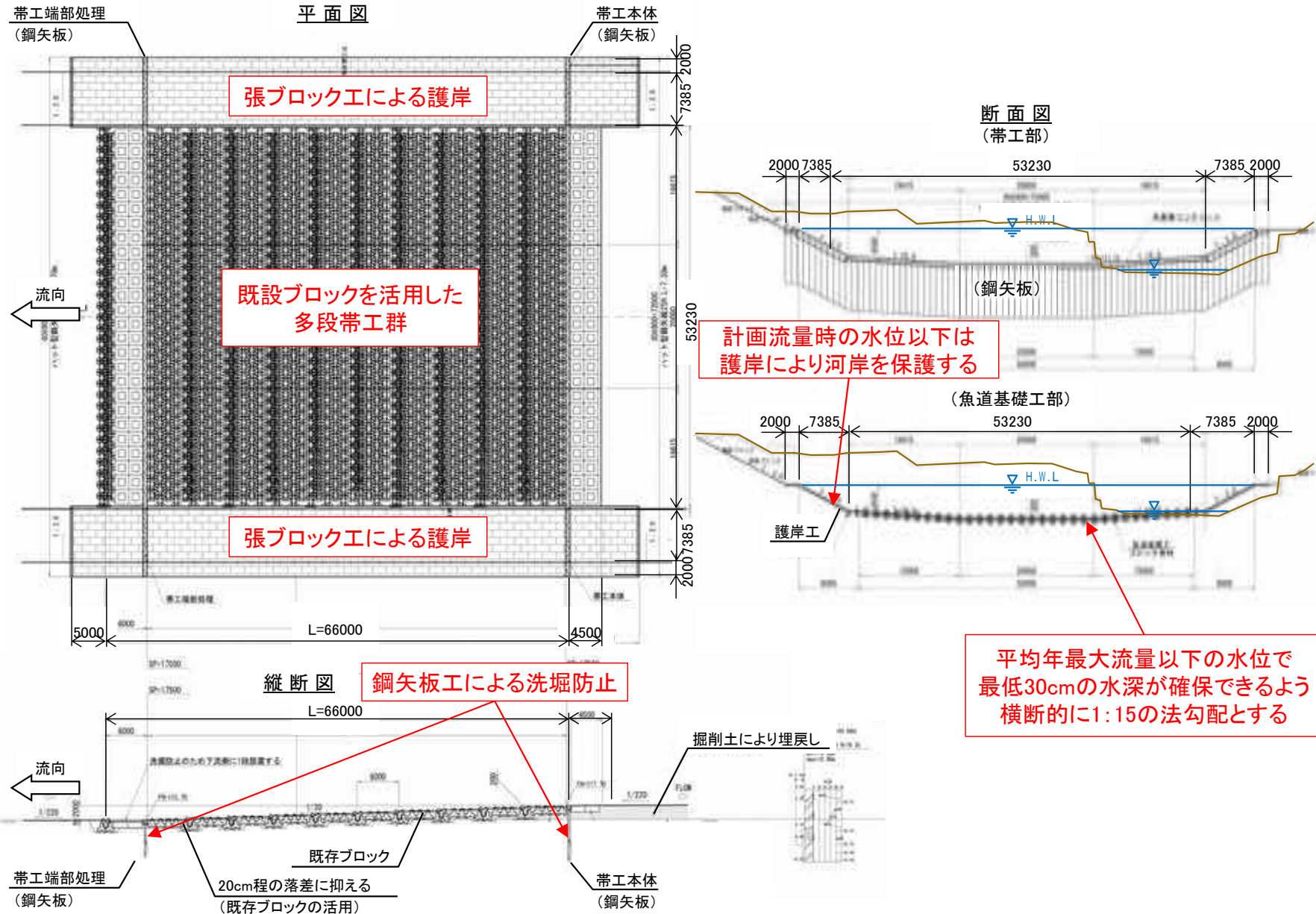
- * 魚類のさらなる遡上を可能にすることと河床低下を抑制することを目的に、魚道工を設置しています。
- * 事業予定期間：令和元年度～令和3年度



5. 然別川総合流域防災工事：魚道工 ① 事業概要

魚道工の構造

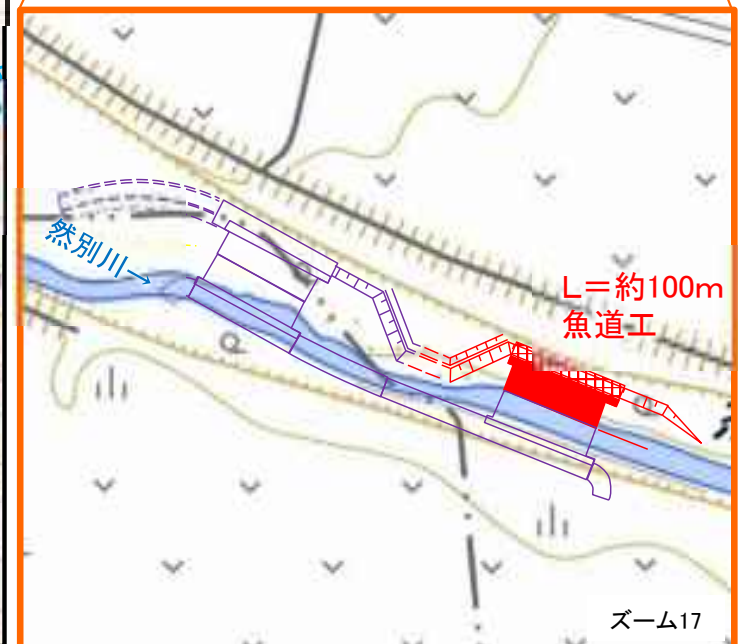
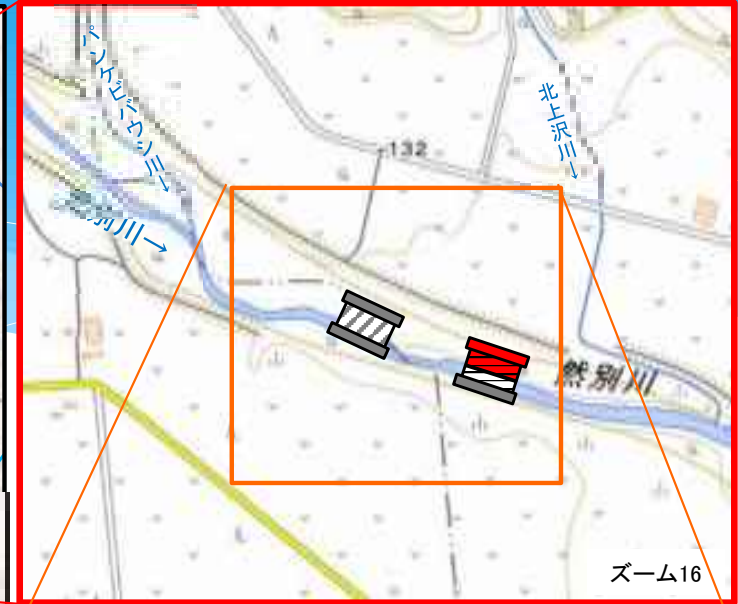
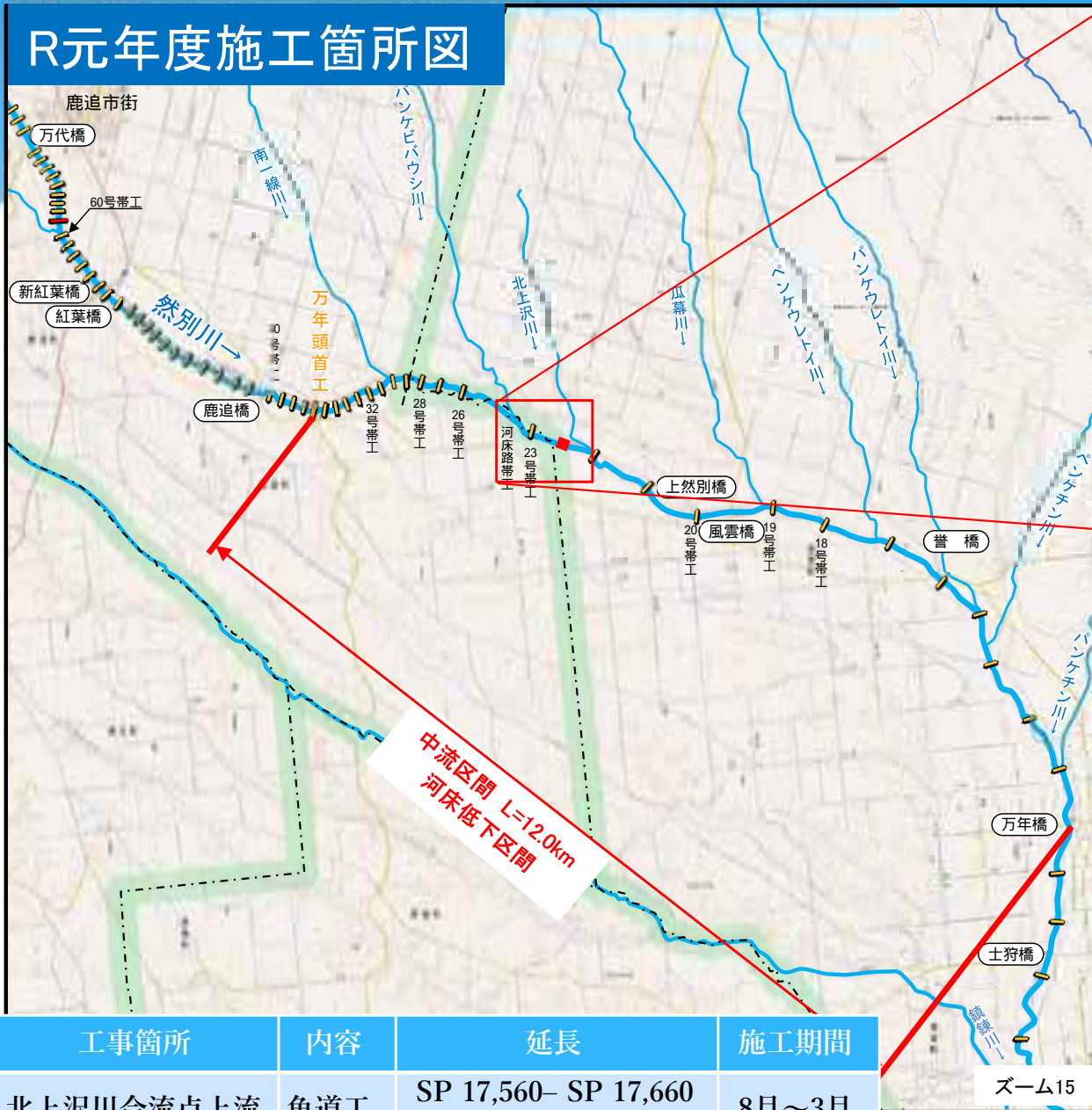
魚道(帯工)一般図より



② 今年度の工事

5. 然別川総合流域防災工事：魚道工

R元年度施工箇所図



工事箇所	内容	延長	施工期間
北上沢川合流点上流	魚道工	SP 17,560- SP 17,660 延長 100 m	8月～3月

このページの地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情複、第761号)

5. 然別川総合流域防災工事：魚道工 ② 今年度の工事

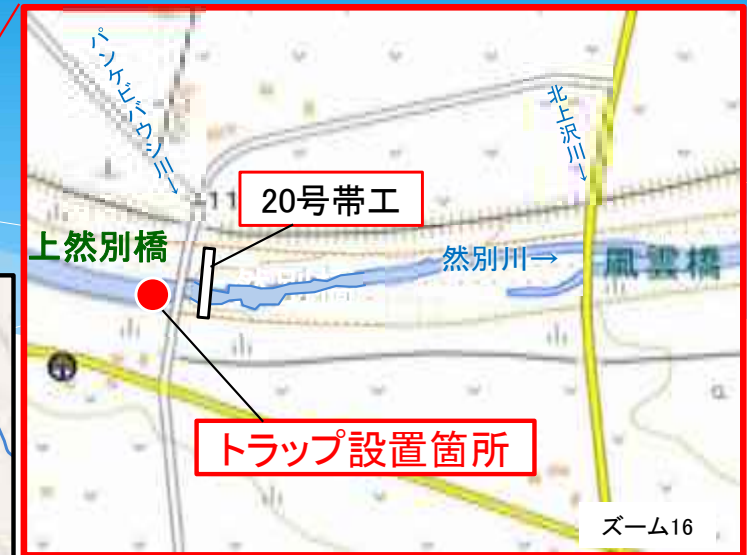


施工状況(R2.1.16)

③ R元年度調査

5. 然別川総合流域防災工事：魚道工

- * 施工箇所付近での魚類遡上状況を確認するために、下流に位置する20号帯工の魚道について遡上調査を行いました。



調査	調査箇所	調査内容	時期
魚類遡上調査	20号帯工魚道	トラップ調査	R元年8月31日～9月1日

5. 然別川総合流域防災工事：魚道工 ③ R元年度調査

魚類遡上状況調査結果概要

	確認種	確認数合計	体長	遡上時期など
遊泳魚	重要種A	3	13.2～22.2 cm	6-7月に産卵遡上
	ウグイ	25	9.1～14.3 cm	5-7月に産卵遡上
	ニジマス	9	16.9～29.0 cm	1年を通じて上下流に移動 (産卵は8-9月)
	重要種B	7	11.2～18.0 cm	1年を通じて上下流に移動
底生魚	フクドジョウ	5	4.2～13.9 cm(全長)	4月下-7月に産卵(遡上)
	3科5種	49	—	

赤字:重要種、青字:外来種

- * 小型～中型の遊泳魚やフクドジョウが遡上しており、20号帯工の魚道が正常に機能していることが確認されました。
- * 現在施工中の魚道工が、これらの魚類のさらなる遡上を可能にしてくれるよう期待しています。

④ 化石林について

5. 然別川総合流域防災工事：魚道工

① ワーキング委員による施工状況確認会

実施概要

- * 川づくりワーキング委員参加の然別川魚道工施工状況確認会を実施しました。
 - ・ 実施日：令和元年11月13日
 - ・ 場所：然別川魚道工工事施工箇所
 - ・ 参加委員：鏡委員、高倉委員、紅葉委員、越谷委員、久保下委員
 - ・ 建設管理部職員、工事担当業者とともに現地を踏査し、施工状況と化石林の状況を確認



然別川魚道工施工状況確認会の様子(R1.11.13)

5. 然別川総合流域防災工事：魚道工 ④化石林について

① ワーキング委員による施工状況確認会

発言等の概要

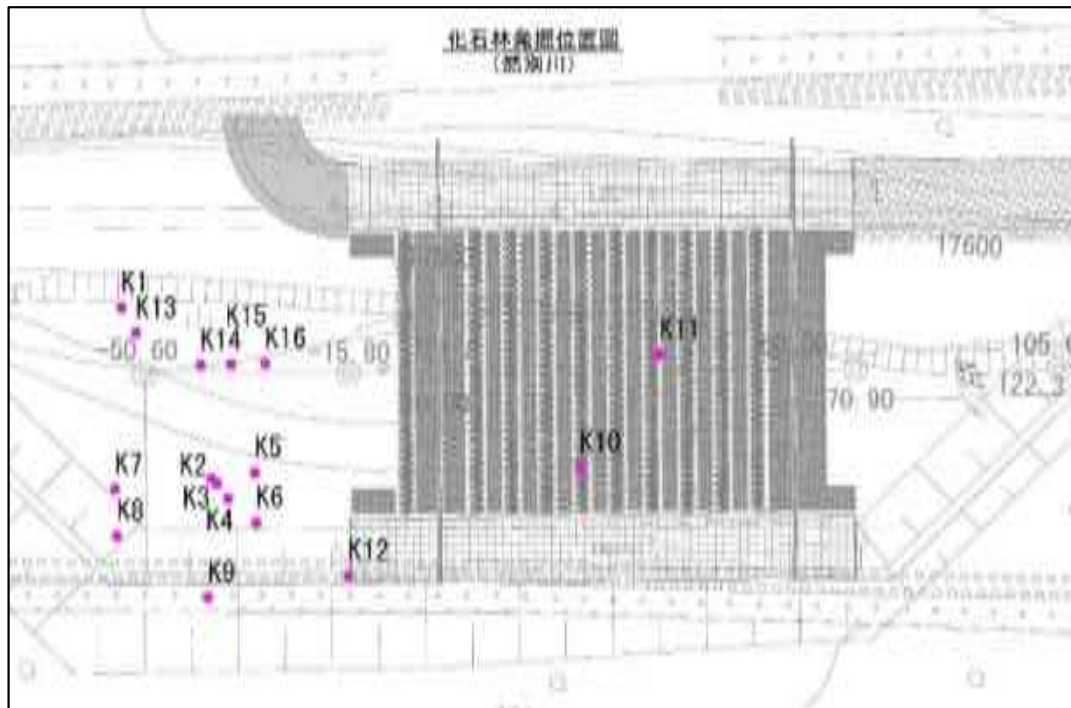
* 確認会では以下のようなご意見等をいただきました。

- 化石林は、然別川中流域では亜炭層に根ざしている。
- この日確認された化石林は亜炭層に根付いていないので、ここに生えていたもの（＝現地生）ではなく、移動してきたものであろう。
- 亜炭層に根ざした化石林は現地生のものなので、位置などを記録して写真で残すとよい。できる範囲でよい。
- 典型的なものが出土したら保存・展示できるとよい。
- 化石林は掘削エリアにあるが、工事は進めてもよい。
- 今日出土した化石林を置いておいてほしい。

5. 然別川総合流域防災工事：魚道工 ④化石林について

② 化石林についての対応

- * 掘削に伴い発見された化石林については、以下のような対応を行っています。
 - ✓ 位置を記録し写真を撮影。
 - ✓ ある程度の大きさがあり、あまり破損せずに掘り取れたものについては、板の上に置き全体をビニールによって密封。



化石林発掘位置図



化石林確認状況



化石林保管状況

6. 渋山川、居辺川河川区間

	工事	事業の予定
渋山川	R2年度には予定なし	<ul style="list-style-type: none">• 基本的にR3年度以降• 今年度、設置済みの魚道について魚類の遡上状況調査を検討• 単独費で予算がついたら対応
居辺川河川区間	R2年度には予定なし	<ul style="list-style-type: none">• 基本的にR3年度以降• 単独費で予算がついたら対応